



2024年 6月 3日  
第186号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本  
発行人 助川一実  
編集情宣担当  
ホームページ  
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 会社提案では・・・ 「駅派出所検査体制等の見直しについて」

# 車両検査 ダブルチェックできません

5月21日、JR東労組横浜地本は、首都圏本部より「駅派出所検査体制等の見直しについて」の提案を受けました。

※詳細は横浜地本情報第179号参照

その一つが、鎌倉車両センターの横浜派出所と大船ホーム検査を2人体制から1人体制にするというものです。

提案時にダブルチェックの必要性を訴えましたが、会社は「1人体制では相互チェックはできないが、再チェックはできる」との考えを示しました。

### ダブルチェックとは？

ミスを発見し事故を未然に防ぐために、**人を変えて、再度チェック・確認すること**

これまで会社もダブルチェックの重要性や必要性を語ってきました。

これまで2名体制だったのには安全上重要な意味があります。効率化を進めるあまり、安全性が損なわれることはあってはなりません。 JR東労組は「安全第一」で会社と交渉していきます！



## JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本  
発行人 助川一実  
編集情宣担当  
ホームページ  
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



「駅派出所検査体制等の見直しについて」提案を受ける

東京地本および横浜地本は、首都圏本部から5月21日に表題の提案を受けました。

- 実施箇所  
鎌倉車両センター
- 実施内容  
(1) 横浜派出所・大船ホーム検査の体制見直し  
(2) 逗子派出所の執務箇所変更
- 実施時期  
2024年8月1日
- 概要  
(1) 横浜派出所・大船ホーム検査の体制  
現行2名の泊体制を、横浜・大船それぞれに1名の泊体制とする。  
(2) 逗子派出所の体制  
現行、逗子駅構内の建屋で執務しているが、これを鎌倉車両センター本区構内での執務とする。



提案時の議論(1) 横浜派出所と大船ホーム検査の体制見直しについて

組合側	会社の考え
実施日を8月1日とした根拠は何か？ 夏期輸送後のタイミングとすべきでは？	当該職場が横浜支社時代から検討を進め継続して検討し、成案となった。
出勤エリアや、出勤要請の形態は変わるのか？	出勤エリアの考えは変わらない。指2名体制での床下処置など、大がかりな無線や異常時共有システム等のツールから1名でも処置ができる。必要により...
検査係の出場は2名が基本とされてきたが、これを1名に変えるのか？	横浜エリアの線区特情と本区の配置から、横浜・大船それぞれに1名配置とする考え。他エリアの派出所については決まっているものはない。
本線上の処置は臨時作業の最たるものであり、ダブルチェックできる体制が必要ではないか？	1人体制では相互チェックはできないが、再チェックはできる。写真に撮るなどの仕組みも考えられる。
繁忙期に体制を厚くする考えはあるのか？	繁忙期だから、という観点の体制の考えはない。
体制減となる派出所担当者の変動の考え方は？	変化点であるので個別に話をしていく。一方的には考えていない。

注意!

提案時の議論(2) 逗子派出所の執務箇所変更について

組合側	会社の考え
逗子A番を本区構内に配置する理由は何か？	本区当直と逗子担当間の意思疎通が直接できるようにするため。
指令、駅信号、JETSなど、所外の関係者に対する周知とトライアルの考え方は？	関係箇所に対して周知は行う。連絡先などは変わらない。指令については、本区構内と逗子派出所へ2重の連絡となっていたが解消される。
入区車両の留置状況、編成番号の確認についてはどのように行うのか？	重要性は認識しており検討段階である。異形式併結を防止するための対策は、車両置き換え完了まで継続して行っていく。
本区へ配置後の逗子担当、および現在の当直に対する逗子の業務に関する教育の考え方は？	相互に必要な教育は行っていく。本区に集約することで、基本・付属編成の全体を見れるようになる。
異常時は逗子派出所に派遣することはあるか？	異常時に逗子で執務ができるよう、スペースは確保しておく考えた。
逗子担当の業務を、最終的にU番やT番が吸収して配置を解消する考えはあるのか？	現状で示せるものはないが、すぐに解消とはならないだろう。体制が変更となる場合は、改めて提案する。
在勤地指定についてはどうなるのか？	本区構内となるので、在勤地指定(逗子)は解除となる。

派出所検査のあり方が大きく変わる施策だ！安全が担保される職場環境を考えよう！

## 効率化を進めるあまり安全性が損なわれるのであれば反対！

JR東労組は会社と真摯に向き合っていきます！  
「安全第一」で職場から議論をつくり出そう！

